

地図倶楽部の学生会員として

畔蒜 和希

明治大学 文学部 史学地理学科 (新2年生)

先日の国土地理院見学では、普段は目にすることのできない国土地理院の中まで拝見することができ、非常に貴重な経験だと感じました。「地図と測量の科学館」を何度か訪れる度に、いつかとなりの国土地理院の内部を見てみたい…と思っていた、幼い頃からの夢が実現されました。

特に VLBI の観測と、迅速な地図作成技術にはとても驚かされました。直径32mのアンテナの回転そのものにも圧倒されましたが、地球の僅かな動きを計測したり、私たちの立つ位置を決める指標を担っていたりと、「地理」の源泉ともいえる重要な役割を持っていることに感動しました。また、国土地理院の地図作成技術については、以前より高速道路の開業日にすぐ地理院地図が更新されているのはなぜだろうと疑問を抱いていました。その答えとして、道路管理者や地方公共団体との連携により様々な情報を持つ地図を重ね合わせていくことで迅速な更新を可能にしていることを知り、また常に新しく、正確な地理情報を求められる現在だからこそ、多様な手段で高度な技術を駆使していかなければならないことを再認識しました。

私は幼い頃から地図を眺めるのが好きで、大学で地理学を専攻する現在に至ります。1年次に地図学を履修し、講師の田代先生のおかげでこの1年で様々な地図関係のイベントに参加することができました。(この地図倶楽部に入会したのも、そのようなつながりからです。) 今後は学生の会員がより増えていくことに期待しながら、様々なイベントに参加していきたいと考えています。

地図倶楽部楽しみです！

飯塚 和幸

明治大学附属中野中学・高等学校社会科教諭

地図倶楽部発会おめでとうございます。日頃は地図についてを教える立場ですが、そのためにもまずは自分が地図を「楽しく」学ばなければと思っています。楽しく学べる企画を楽しみにしております！！

メッセージ

岡谷 隆基

文部科学省初等中等教育局

学校教育の中でも地図の活用がますます重視されていく中で、地図倶楽部の発足はまさに時宜を得たものだと考えます。児童・生徒や先生の中には地図を食わず嫌いの人が多いけど本当に勿体ない。地図に深く触れればきっと楽しさがわかります。個人的にも楽しませさせていただければと思っております。

ひとこと

鎌田 高造

国土地理院企画部長

地図中心は、数年前から年間購読会員をしています。今回、地図倶楽部を発足されるに当たり、従来からの会員は、購読期間中は追加料金なく地図倶楽部の会員として扱っていただけるということで、これは大変ありがたいサービスだと考えます。

地図中心は、地図に興味を持ち始めて間もない人にも読めるような記事がちゃんとある反面、特集記事が自分のツボにはまる場合は、本当に「こんなに安い価格で良いのか」と思い、それを SNS でも書いたことがあります。日本地図センターのような機関が、このような入門者からプロまで楽しめるような出版物を出し続けることは大きな意義があると思います。関係者の一人として、地図倶楽部を皆さんと一緒に盛り上げて参りたいと思います。

地図人生

西川 治

東京大学名誉教授、坤輿学人

いつも生き生き地図人生、
論より詳図、
花暦の地図便り、
日本の誇り輿地全図、
骨折り甲斐のマッピング、
平成の歴史を飾る地図クラブ
共に楽しむ久寿生。

地図が楽しめる地図倶楽部にします ―運営責任者からのご挨拶―

野々村 邦夫

一般財団法人 日本地図センター理事長

この度（2016年3月1日）、地図倶楽部が発会しました。地図倶楽部は、地図が好きで、地図を愛する方が、地図を楽しむ倶楽部です。地図が好きで、地図を愛する方のご入会を心から歓迎します。発会早々ご入会いただきました皆様には、厚くお礼を申し上げます。

私は、日本地図センター理事長の野々村邦夫と申します。地図倶楽部の運営責任者という立場になりますので、重責を感じています。心すべきことは多々ありますし、あれもやりたい、これもやりたいと、今は大いに気分が高揚しています。一方、会員の立場で、会員の目線で考えることが大切ではないかと思ひ、私も早速入会の申込みをし、会員の一人に加えていただきました。皆様には、お世話役であるとともに会員仲間の一人とさせていただければ、大変有難く存じます。

地図が好きで、地図を愛する会員がこの倶楽部で存分に地図を楽しんでいただけますよう、また、地図を楽しみたいと思っでご入会いただきました皆様のご期待を裏切らないよう、微力を尽くします。どうぞよろしくお願い申し上げます。